

2008年の経済を考える

——中前忠先生の現状分析を参考に考える——

開倫塾
林 明夫

〈現状分析〉

1. 世界経済の拡大を支えてきたもの
 - (1) 米国の消費ブーム
 - (2) 中国の投資バブル
 - (3) 世界的な住宅バブル
2. サブ・プライムローンの破綻を契機に生じたこと
 - (1) 金融市場が収縮過程に入ったこと
 - (2) 不況化が避けられなくなったこと
3. 経済の現況
 - (1) 原油や食糧といった基礎物資の価格の高止り
 - (2) ドル安の加速
 - (3) 金価格の急騰
4. 世界経済の現状認識
世界経済は大きな調整過程に入りつつある
5. 今後のテーマ——2つのシナリオ——
 - (1) 1930年代のようなデフレ下での調整になる
 - (2) 1970年代のようなインフレ調整になる

-----以上は中前先生の分析-----

〈対策〉

6. 日本と地域の可能性—国際競争力強化を—
 - (1) 小さな政府・小さな自治体で財政破綻回避
 - ①徹底的な規制改革
 - ②徹底的な経費削減（公務員9人員と人件費削減）
 - (2) FDI（対内直接投資）促進
 - (3) 国際競争力ある地域クラスター
 7. 企業の可能性—国際競争力強化を—
 - (1) 生産性向上
 - (2) 国際標準経営（四半期決算）
 - (3) Rand D（研究開発）, Mand A, 業態変更
- 〈今、目指すべきもの〉
8. 一人当たり GDP 向上を（目指せ「一人当たり GDP 世界一」）

以上

— 1月2日記 —